

膝関節疾患

膝関節部痛

膝関節疾患の代表的なものに、変形性膝関節症（膝 OA）があります。国内での自覚症状を有する膝 OA 患者数は約 1000 万人と言われ、潜在的な患者数は約 3000 万人と推定されています。基本的には内服・注射・筋力訓練・足底板などの保存的治療を行っても、十分な効果が得られず、疼痛のために日常生活に支障をきたしている場合に手術加療を検討させていただきます。患者さんそれぞれの年齢、活動レベル、関節の破壊の程度を考慮しながら、人工膝関節全置換術（TKA）、高位脛骨骨切り術（HTO）や単顆型人工膝関節置換術（UKA）を選択します。また関節リウマチ（RA）や大腿骨または脛骨の骨壊死に対する手術も積極的に行っております。

全人工膝関節置換術

当院における人工膝関節置換術の特徴としては、人工膝関節置換術後の長期成績において、良好な結果を得るために、人工関節の正確な設置を目指して、患者さんの骨形態を考慮し、ナビゲーションを用いた人工膝関節置換術を行っております。通常、術前計画通りの人工関節設置が行われているかは、術者の判断と経験によるものがあります。ナビゲーションを用いることで、術中リアルタイムに人工関節の設置が正しく行われているか確認ができより安全で正確な手術が可能となっています。



人工膝関節



術前レントゲン像



術後レントゲン像

また、人工膝関節置換術後の問題点として術後疼痛が挙げられます。当院では、術後疼痛において、硬膜外カテーテルから局所麻酔薬及び腰椎麻酔併用によりできる限りの鎮痛を行っております。患者様の希望に合わせて可能な限りの術後鎮痛を考慮しております。